

プロポーザル方式における特定結果書

- | | |
|---------------------------|------------------------|
| 1 業務名 | 四国の海上における南海トラフ地震対策検討業務 |
| 2 所属事務所 | 四国地方整備局港湾空港部 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 技術提案書の提出要請日
または選定通知日 | 令和6年6月21日 |
| 5 公示日 | 令和6年5月27日 |
| 6 特定通知日 | 令和6年7月31日 |

[illegible]

プロポーザル評価表

1. 件名 四国の海上における南海トラフ地震対策検討業務
2. 所属事務所 四国地方整備局港湾空港部
3. 技術提案書の特定通知日 令和6年7月31日

業 者 名		技術評価点の内訳				技術評価点 合計	備考
		配置予定技術者の 資格及び実績等	配置予定技術者の 成績及び表彰	特定テーマ			
				特定テーマ1	特定テーマ2		
	評価のウェイト	20	30	170		220	
公益社団法人日本港湾協会		20	27	93		140	特定

公募型・簡易公募型プロポーザル方式における選定結果書

- | | |
|-------------------|------------------------|
| 1 業務名 | 四国の海上における南海トラフ地震対策検討業務 |
| 2 所属事務所 | 四国地方整備局港湾空港部 |
| 3 方式(〇〇型プロポーザル方式) | 簡易公募型プロポーザル方式 |
| 4 公示日 | 令和6年5月27日 |
| 5 選定通知日 | 令和6年6月21日 |

[illegible]

【令和6年度 公募型・簡易公募型プロポーザル方式業者選定資料】

件名	四国の海上における南海トラフ地震対策検討業務			ランク：建設コンサルタント等 A等級	技術者の資格：・技術士（総合技術監理部門（建設）又は建設部門） ・博士（業務に該当する分野） ・RCCM（港湾及び空港部門）又は同等の能力を有する者（技術士部門と同様の部門に限る。）。 但し、港湾関係の実務経験が3年以上ある者 ・土木学会特別上級土木技術者、土木学会上級土木技術者又は土木学会1級土木技術者 ・APECエンジニア（業務に該当する部門） ・発注者が上記と同等であると認めた者
業務概要・数量	本業務は、「南海トラフ地震に対応した四国の広域的な海上輸送の継続計画」及び「緊急確保航路等航路啓開計画」の実効性を高めるため、課題や検討事項を取りまとめるとともに、訓練・検討会等を開催し、計画の更新及び今後の方策等の検討を行うものである。			契約形態：簡易公募型プロポーザル方式	
	・計画準備等			1式	企業の同種業務実績：以下の①及び②を実施した業務（①、②は別件業務で可）
	・「南海トラフ地震に対応した四国の広域的な海上輸送の継続計画」の更新			1式	①災害時における緊急海上輸送を検討した業務又は災害時における航路啓開を検討した業務
	・「緊急確保航路等航路啓開計画」の更新			1式	②委員会の運営又は検討会の運営に関する業務
	・航路啓開訓練の5箇年計画（案）の作成			1式	企業の類似業務実績：以下の①及び②を実施した業務（①、②は別件業務で可）
	・訓練の実施及び課題の取りまとめ			1式	①港湾における災害時の事業継続計画（BCP）又は防災訓練に関する業務
	・会議運営補助			1式	技術者の同種業務実績：企業と同じ
	・成果物			1式	技術者の類似業務実績：企業と同じ
		業務区分	業務の等級	特定テーマ：航路啓開訓練の5箇年計画（案）の作成における課題、着眼点及び解決方法について	
		建設コンサルタント等	A		
技術提案書のヒアリング実施日		入札予定日	履行期間		
令和6年7月12日～17日		令和6年8月21日	令和7年2月28日		

[illegible]